

商いの新しいものさし

(株)商い創造研究所
代表取締役

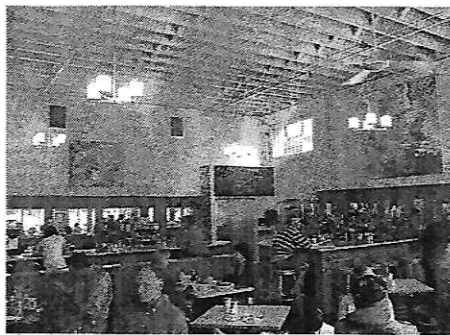
松本 大地

第30回

朝食文化づくりへの提唱

商業施設新聞2000
号記念「ポートランド&
シアトルライフスタイル
業態視察ツアー」では、

都会の喧騒と身近な自然
が両立し、そこから生ま
れるモダンなライフスタ
イルを体験した。筆者



朝食レストラン「ビジュ・カフェ」のくつろぎ空間

は毎年視察ツ
アーにて現地
を訪れている
が、あえて朝
食はホテルの
外で食べるよ
うに薦めてい
る。このエリ
アには特有の
朝食文化が浸
透しており、
生活者の健康

志向やコミュニティづ
くり、また食ビジネスの
拡充にも寄与しているか
らだ。その実態を見ると、
これからの日本において
も十二分に考えられる商
いのものさしと思える。
タウンタワーにある
「ビジュ・カフェ」は
朝7時から14時までの朝
食レストラン。1978
年創業と35年の間、ポー
トランド(ポートラン
ド)で暮らす人の愛称「ヤ
来訪者に美味しい朝食を
提供している。ビジネス
マン、家族、カップルと
様々な客層が、通常の朝

食の他、オーガニックの
野菜、オイスターハッシ
ュを食べながらの、ビジ
ネスミーティングやコミ
ュニティーの場となる。
その隣にはポートランド
発のコーヒー焙煎とカフ
エで注目される「スタン
ブタウン・コーヒー」が
並び、古い建物のドアを
開けると、香ばしいコー
ヒーの匂いと音楽が流
れ、バリスタがつくるア
ートフルなトリプル・ラ
テと地元ペーカリーのペ
イストリーで軽めの朝食
を楽しむポートランド
の姿がある。

またその隣り合わせに
あるのが早朝から行列が
できる「ブードゥー・ド
ーナツ」というドーナツ
専門店。呪いの人形ド
ーナツや塩ペーコンと蜂蜜
を流し込んだドーナツな
ど、ユニークなオリジナ
ル商品が並ぶお店の前に
は、ヒッピースタイルの
若者から観光客までが押
し寄せる。その他、ベー
カリッシュアップの焼き立
てのクロワッサンとコー
ヒーも朝の風景の1つで
あり、春になると市内で
開かれるファーマーズマ
ーケットの新鮮な食材で
つくられる朝食もポート
ランドの楽しみであ
る。

そして郊外立地ではあ
るが、「オリジナルパン
ケーキハウス」は最もポ
ートランド朝食文化を象
徴するお店。1953年
にポートランドで創業し
た老舗店は、今では全米
で117店を展開してい
るが、直営店はポートラ
ンドの1号店のみであ
る。様々なパンケーキを
提供するが、その中でも
一番人気のグッチペービ
ーは卵を6個も使う逸
品。朝7時から15時まで
の営業ながら、モーニン
グ、ブランチ、ランチを
楽しむ人で溢れ、家で朝
食を食べるようなアット
ホームな感じの内装、健
康そうなウェイトレスの
振る舞いも美味しさを引
きだしている。「オリジ
ナルパンケーキハウス」
の日本1号店が、6月4
日に丸井吉祥寺店にお目
見えすること、どの
のような雰囲気になるの
かとても楽しみである。

こうしてポートランド
では朝食が交流の機会、
ビジネスの場として生活
の中で息づき、特有の朝
食文化がつけられ、健康
的なライフスタイルづく
りを後押ししている。
日本の朝食の現状はい
かがなものか。朝食を提
供している多くは、ファ
ーストフード店や立ち食
い蕎麦の類であり、コミ
ュニケーションは皆無で
ある。一方、名古屋や岐
阜のように、喫茶店での
モーニングが盛んなこと
もあるが、それもお得
感で利用する習慣からで
あろう。朝食というオケ
ーションを、交流やビジ
ネスの場に変えていく新
しい商いのものさしがで
きないものだろうか。
ビジネス街では、栄養
を考えたサイドメニュー
の開発、オープンカフェ
ではペットの朝の散歩帰
りに交流できるような仕
組み、百貨店では食品売
り場の店舗と運動したオ
リジナルモーニングで誘
客を促し、地方では地域
一番の旬の食材で作られ
た朝定の提供などをすれ
ば、顧客づくりやビジネ
スの拡大にも繋がってい
くであろう。日常のライ
フスタイルの豊かさづく
りに、朝食文化で心を体
に栄養を与えて欲しい。